



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東名札福

上場会社名 DOWAホールディングス株式会社

コード番号 5714 URL <http://www.dowa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 政雄

問合せ先責任者 (役職名) 企画・広報部門部長 (氏名) 吉井 出

TEL 03-6847-1106

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	211,885	9.6	16,356	44.5	17,853	44.7	11,733	101.2
25年3月期第2四半期	193,242	2.3	11,318	4.5	12,338	25.5	5,831	22.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 16,601百万円 (243.7%) 25年3月期第2四半期 4,830百万円 (△25.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	39.65	—
25年3月期第2四半期	19.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	354,218	155,131	41.3
25年3月期	349,787	142,400	38.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 146,208百万円 25年3月期 133,593百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	12.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	426,000	1.6	30,500	24.2	33,000	21.0	19,000	24.9	64.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	309,946,031 株	25年3月期	309,946,031 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	14,000,623 株	25年3月期	13,996,340 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	295,947,630 株	25年3月期2Q	295,952,985 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTNetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14
4. 補足情報	15
(1) 生産量比較	15
(2) 販売単価比較	15
(3) 海外地金相場及び為替相場比較	15
(4) (連結)設備投資額及び減価償却費	15
(5) (連結)従業員数	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は堅調に推移しましたが、中国やインドなどアジア諸国の成長が鈍化し、また欧州も停滞した状況が続きました。一方、国内経済は、極端な円高水準の是正により輸出環境が好転したことや、政府の経済政策効果などにより回復基調にありました。

当社グループの事業環境については、需要面では、自動車関連製品が堅調に推移しました。電子材料向け製品は、多機能携帯端末や太陽電池向けの需要が着実に伸長しました。また、産業機械向けの需要は、設備投資の回復を背景に回復基調にありました。相場環境は、貴金属価格が下落し、為替は円安基調が継続しました。

当社グループは、このような状況の中、中期計画Vに沿って、市場・ユーザーの状況や変化に対応し、生産性向上・受注拡大に向けた施策を実行していきました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比10%増の211,885百万円、営業利益は同45%増の16,356百万円、経常利益は同45%増の17,853百万円、四半期純利益は同101%増の11,733百万円となりました。

主要セグメントの状況は次のとおりです。

#### 環境・リサイクル部門

廃棄物処理は、国内の産業廃棄物発生量が横這いの中、集荷ネットワークを活かした受注や処理拠点の操業度増により、処理量を増やしました。土壌浄化は、不動産市況が緩やかに回復する中、現地浄化処理や海外案件の受注拡大に努めました。リサイクルは、電子部品スクラップの海外集荷を拡大し、増集荷を図りました。海外事業展開では、東南アジアにおける廃棄物処理を拡大しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比2%増の48,190百万円、営業利益は同83%増の4,633百万円となりました。

#### 製錬部門

金属価格については、総じて弱含みでしたが、投機資金の動きなどにより特に貴金属の価格が下落しました。為替については、前年末からの円高修正が定着し、円安基調が継続しました。このような中、各製錬所の稼動は順調に推移し、また重点施策であるスズ・アンチモンなど新金属の回収強化を進めました。販売面では自動車向けの亜鉛製品が好調であり、さらにコスト面では電力原単価や物品費の削減に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比12%増の102,845百万円、営業利益は262%増の4,578百万円となりました。

### 電子材料部門

多機能携帯端末など I T 関連製品について市場ニーズに応える製品開発に加えて、新製品の拡販や新規顧客の獲得に努めました。需要面では、パソコンや T V 向けなどが低迷しましたが、多機能携帯端末向けや太陽電池向けの市場が成長しており、半導体製品や導電材料製品において需要を取り込みました。一方では、機能材料製品が在庫調整や欧州需要の低迷により販売量を減らしました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比16%増の41,010百万円、営業利益は同15%減の3,241百万円となりました。

### 金属加工部門

国内自動車生産が比較的堅調に推移したことにより、自動車向けの端子やコネクタに使われる伸銅品やめっき品は、ほぼ前年同期並みの水準で推移しました。民生用途の伸銅品はパソコン関連の需要減が続いていますが、多機能携帯端末関連の需要獲得に注力しました。セラミックス基板は、設備投資の回復などにより産業機械向けや電鉄向けに販売を増やしました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比7%増の39,844百万円、営業利益は6%増の2,630百万円となりました。

### 熱処理部門

熱処理加工では、国内自動車生産が比較的堅調に推移しており、自動車関連製品で受注を増やしました。また、国内工場の生産性改善による競争力強化に取り組みました。工業炉は、海外の市場拡大に合わせて新炉の拡販やメンテナンス需要の獲得に努めました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比微減の11,609百万円、営業利益は11%増の931百万円となりました。

### その他部門

その他部門の売上高は4,426百万円、営業利益は4百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## ① 資産、負債、純資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して4,430百万円増加し、354,218百万円となりました。流動資産で603百万円の増加、固定資産で3,827百万円の増加となります。

流動資産は、受取手形及び売掛金が5,908百万円減少する一方で、原材料及び貯蔵品が6,579百万円増加しました。固定資産は、上場株式の時価が上昇したことなどにより投資有価証券が4,519百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度と比較して8,299百万円減少し、199,086百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が6,457百万円減少したことなどによります。

純資産については、当第2四半期（累計）純利益を11,733百万円計上した一方で、配当金の支払を行った結果、株主資本が8,047百万円増加しました。また、株式の時価評価、デリバティブ取引の時価評価などによりその他の包括利益累計額が4,567百万円増加しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から3.1%増加し41.3%となりました。

## ② 連結キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より588百万円減少し5,541百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は3,296百万円の収入（前年同期比16,309百万円収入減）となりました。税金等調整前四半期純利益17,592百万円の一部で、棚卸資産の増加や仕入債務の減少、法人税等の支払があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は7,866百万円の支出（前年同期比573百万円支出増）となりました。主に有形固定資産の取得による支出6,999百万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は3,664百万円の収入（前年同期比14,717百万円収入増）となりました。有利子負債の借入7,661百万円と配当金の支払3,744百万円によるものです。

なお、有利子負債の増減について、四半期連結貸借対照表と四半期連結キャッシュ・フロー計算書との差異は、為替換算差額の影響によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、現在のところ業績が想定した範囲内で推移しているため、平成25年10月11日に公表した見通しの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,163	5,575
受取手形及び売掛金	71,829	65,920
商品及び製品	20,900	21,177
仕掛品	4,294	5,226
原材料及び貯蔵品	55,087	61,667
繰延税金資産	3,287	3,108
その他	9,783	9,270
貸倒引当金	△59	△56
流動資産合計	171,287	171,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	96,511	98,357
減価償却累計額	△53,650	△55,453
建物及び構築物 (純額)	42,861	42,903
機械装置及び運搬具	203,780	207,743
減価償却累計額	△172,605	△176,572
機械装置及び運搬具 (純額)	31,174	31,171
土地	22,577	22,453
建設仮勘定	4,528	4,285
その他	12,020	12,589
減価償却累計額	△9,516	△9,772
その他 (純額)	2,504	2,816
有形固定資産合計	103,647	103,630
無形固定資産		
のれん	7,325	7,082
その他	3,891	4,319
無形固定資産合計	11,217	11,401
投資その他の資産		
投資有価証券	56,187	60,707
長期貸付金	491	601
繰延税金資産	3,976	3,031
その他	3,147	3,120
貸倒引当金	△165	△164
投資その他の資産合計	63,636	67,296
固定資産合計	178,500	182,327
資産合計	349,787	354,218



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,403	35,945
短期借入金	52,514	58,878
コマーシャル・ペーパー	—	10,000
未払法人税等	5,353	4,607
未払消費税等	1,748	644
引当金		
賞与引当金	3,088	3,214
役員賞与引当金	169	69
引当金計	3,258	3,283
その他	27,847	18,247
流動負債合計	133,125	131,606
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	44,623	36,427
繰延税金負債	2,969	3,984
引当金		
退職給付引当金	10,990	11,348
役員退職慰労引当金	613	573
その他の引当金	435	416
引当金計	12,039	12,339
その他	4,627	4,729
固定負債合計	74,260	67,480
負債合計	207,386	199,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,437	36,437
資本剰余金	26,362	26,362
利益剰余金	68,180	76,230
自己株式	△5,688	△5,692
株主資本合計	125,291	133,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,990	11,256
繰延ヘッジ損益	89	408
為替換算調整勘定	△777	1,204
その他の包括利益累計額合計	8,302	12,869
少数株主持分	8,807	8,923
純資産合計	142,400	155,131
負債純資産合計	349,787	354,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	193,242	211,885
売上原価	167,652	180,698
売上総利益	25,590	31,187
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	1,699	1,621
販売手数料	307	283
役員報酬	641	683
給料及び手当	2,470	2,502
福利厚生費	806	825
賞与引当金繰入額	800	896
退職給付費用	303	316
役員退職慰労引当金繰入額	84	84
賃借料	338	350
租税公課	327	407
旅費及び交通費	705	732
減価償却費	348	336
開発研究費	2,262	2,496
のれん償却額	249	258
その他	2,926	3,036
販売費及び一般管理費合計	14,272	14,831
営業利益	11,318	16,356
営業外収益		
受取利息	50	62
受取配当金	276	304
為替差益	—	296
持分法による投資利益	1,189	930
その他	1,316	1,328
営業外収益合計	2,833	2,922
営業外費用		
支払利息	866	761
為替差損	207	—
環境対策費	322	288
その他	416	374
営業外費用合計	1,812	1,425
経常利益	12,338	17,853

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>特別利益</b>		
受取補償金	262	83
投資有価証券売却益	—	55
固定資産売却益	88	29
受取保険金	48	18
補助金収入	10	—
その他	1	9
特別利益合計	412	195
<b>特別損失</b>		
災害による損失	147	246
固定資産除却損	226	142
減損損失	58	48
投資有価証券評価損	2,552	—
環境対策費	100	—
固定資産売却損	10	—
その他	62	19
特別損失合計	3,157	457
税金等調整前四半期純利益	9,592	17,592
法人税、住民税及び事業税	2,805	5,489
法人税等調整額	843	199
法人税等合計	3,649	5,688
少数株主損益調整前四半期純利益	5,943	11,903
少数株主利益	111	169
四半期純利益	5,831	11,733

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,943	11,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△643	1,970
繰延ヘッジ損益	△629	89
為替換算調整勘定	△147	1,036
持分法適用会社に対する持分相当額	307	1,602
その他の包括利益合計	△1,113	4,698
四半期包括利益	4,830	16,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,726	16,301
少数株主に係る四半期包括利益	104	300

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,592	17,592
減価償却費	7,996	7,684
減損損失	58	48
のれん償却額	249	258
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	6
その他の引当金の増減額 (△は減少)	443	324
受取利息及び受取配当金	△326	△366
支払利息	866	761
為替差損益 (△は益)	44	8
持分法による投資損益 (△は益)	△1,189	△930
固定資産売却損益 (△は益)	△77	△28
固定資産除却損	226	142
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△55
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,552	—
売上債権の増減額 (△は増加)	249	6,422
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,310	△7,453
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,382	△6,853
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△198	△1,119
その他	△2,583	△8,817
小計	20,836	7,623
利息及び配当金の受取額	1,762	2,631
利息の支払額	△898	△789
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,094	△6,170
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,606	3,296
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,981	△6,999
有形固定資産の売却による収入	611	39
無形固定資産の取得による支出	△147	△270
投資有価証券の取得による支出	△22	△22
投資有価証券の売却による収入	—	79
関係会社株式の取得による支出	△971	△608
補助金の受取額	297	—
貸付けによる支出	△348	△389
貸付金の回収による収入	391	253
その他	△121	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,292	△7,866

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,429	10,497
長期借入れによる収入	3,711	—
長期借入金の返済による支出	△14,894	△12,835
少数株主からの払込みによる収入	44	—
自己株式の取得による支出	△1	△3
自己株式の売却による収入	0	—
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	10,000
配当金の支払額	△3,005	△3,601
少数株主への配当金の支払額	△153	△142
セール・アンド・リースバックによる収入	32	—
リース債務の返済による支出	△216	△249
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△11,053</b>	<b>3,664</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	215
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>1,264</b>	<b>△690</b>
現金及び現金同等物の期首残高	4,788	6,129
<b>新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>446</b>	<b>102</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,499	5,541

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	29,099	80,240	34,298	37,119	11,670	192,427	815	193,242	—	193,242
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,944	11,277	1,035	7	0	30,265	3,586	33,851	△33,851	—
計	47,043	91,517	35,334	37,126	11,670	222,693	4,401	227,094	△33,851	193,242
セグメント利益	2,526	1,265	3,810	2,481	838	10,922	11	10,933	384	11,318

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、主にグループ間取引を含んでいます。
- 2 セグメント利益の調整額384百万円には、セグメント間取引消去額400百万円及び未実現利益の調整額△16百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	環境・リ サイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	計				
売上高										
外部顧客への売上高	30,360	88,827	40,134	39,838	11,609	210,769	1,115	211,885	—	211,885
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	17,830	14,017	876	6	0	32,731	3,310	36,042	△36,042	—
計	48,190	102,845	41,010	39,844	11,609	243,500	4,426	247,927	△36,042	211,885
セグメント利益	4,633	4,578	3,241	2,630	931	16,014	4	16,019	336	16,356

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸業、プラント建設業、土木工事業、建設工事業、事務管理業務、技術開発支援業務など、主にグループ間取引を含んでいます。
- 2 セグメント利益の調整額336百万円には、セグメント間取引消去額368百万円及び未実現利益の調整額△31百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。



## 決算説明資料

## (1) 生産量比較

区分	平成24年度上期	平成25年度上期	増減	平成25年下期計画
電気銅	57,374 t	55,809 t	△ 1,565 t	51,876 t
亜鉛	75,355 t	78,396 t	3,041 t	85,857 t
電気鉛	7,033 t	6,626 t	△ 406 t	7,107 t
電気金	3,895 kg	3,549 kg	△ 346 kg	5,512 kg
電気銀	162 t	214 t	52 t	242 t

## (2) 販売単価比較

区分	平成24年度上期	平成25年度上期	増減
電気銅	629 千円/t	717 千円/t	88 千円/t
亜鉛	181 千円/t	213 千円/t	32 千円/t
電気鉛	174 千円/t	233 千円/t	58 千円/t
電気金	4,161 円/g	4,369 円/g	208 円/g
電気銀	76,067 円/kg	73,058 円/kg	△ 3,009 円/kg

## (3) 海外地金相場及び為替相場比較

区分	平成24年度上期	平成25年度上期	増減	平成25年下期計画
為替	79.4 円/\$	98.9 円/\$	19.4 円/\$	95.0 円/\$
電気銅	353.4 ¢/lb	322.6 ¢/lb	△ 31 ¢/lb	317.5 ¢/lb
電気亜鉛	1,908 \$/t	1,850 \$/t	△ 58 \$/t	1,800 \$/t
電気鉛	1,976 \$/t	2,079 \$/t	102 \$/t	2,000 \$/t
電気金	1,632 \$/toz	1,371 \$/toz	△ 262 \$/toz	1,250 \$/toz
電気銀	2,967 ¢/toz	2,224 ¢/toz	△ 743 ¢/toz	2,000 ¢/toz

## (4) (連結) 設備投資額及び減価償却費

区分	平成24年度上期	平成25年度上期	平成25年度計画
設備投資額	8,040 百万円	7,290 百万円	22,500 百万円
減価償却費	7,996 百万円	7,684 百万円	16,870 百万円

## (5) (連結) 従業員数

平成24年9月末	平成25年9月末
5,457 人	5,643 人

(注) 連結グループ外への出向社員及び臨時員を除いています。